

2023年10月19日 全8頁

Indicators Update

2023年9月貿易統計

堅調な輸出を背景に貿易赤字（季節調整値）の縮小が進む

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2023年9月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+4.3%と3カ月ぶりに増加した。自動車の挽回輸出や、半導体等製造装置の輸出の減少幅が前月から縮小したことが主因だ。輸出金額全体は季節調整値で前月比+7.2%と2カ月ぶりに増加した。輸入金額は前年比▲16.3%と6カ月連続で減少し、季節調整値では前月比+5.4%と2カ月ぶりに増加した。これを受け、貿易収支は+624億円と3カ月ぶりの黒字となった。季節調整値では▲4,341億円と、赤字幅の縮小が続いている。
- 9月の輸出数量は前月比+6.2%と、8月の急減の反動が表れて2カ月ぶりに増加した。輸出数量は振れを伴いながらも緩やかに増加している。米国やアジア向けの半導体関連財、米欧向けの自動車関連財などが押し上げた。他方、挽回輸出が進んできた自動車は前月から横ばいとなった。地域別に見ると、米国向け（同+5.1%）、EU向け（同+6.7%）、アジア向け（同+9.8%）のいずれも増加した。
- 先行きの輸出数量は緩やかな増加基調が続くとみている。挽回生産の継続により主力の自動車輸出が高水準で推移すると見込まれるほか、米国経済の底堅さが幅広い財の輸出を下支えするだろう。ただし、日銀短観の結果などを踏まえると、海外市場における自動車のペントアップ（繰越）需要は2023年度中に概ね発現しきる見込みだ。また、米欧ではタイトな金融環境の下で企業の設備投資が下振れしやすく、同国・地域向けの資本財輸出については当面低迷が見込まれる。

【貿易金額】自動車の挽回輸出もあって輸出金額はコンセンサスから上振れ

2023年9月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+4.3%と3カ月ぶりに増加し、コンセンサス（同+3.0%、Bloomberg 調査）を上回った（**図表 1**）。自動車の挽回輸出が継続したほか、半導体等製造装置の輸出額が同▲14.5%と前月（同▲36.3%）から縮小した。輸出金額全体は季節調整値で前月比+7.2%と、輸出数量（大和総研による季節調整値、以下同）の持ち直しを主因に2カ月ぶりに増加した（**図表 2 左**）。

輸入金額は前年比▲16.3%と6カ月連続で減少した。品目別では、原油及び粗油、液化天然ガス、石炭などが大幅に減少した。税関長公示レートは同4.7%の円安だったが、資源価格の下落の影響がより強く表れた。輸入金額全体は季節調整値で前月比+5.4%と、2カ月ぶりに増加した。内訳を見ると、輸入数量（大和総研による季節調整値、以下同）が増加したほか、輸入価格が増加基調に転じている（**図表 2 右**）。

以上を受け、貿易収支は+624 億円と3カ月ぶりの黒字となった。他方、季節調整値では▲4,341 億円となった。赤字幅は、円安の急進やウクライナ侵攻による資源高で輸入額が上振れする前の2021年10月以来の水準まで縮小した（**図表 3**）。

以上を受け、7-9月期の実質GDP成長率における財の純輸出はプラス寄与を見込む。同期の輸出数量は前期比+2.4%と、米国向け（同+7.2%）やアジア向け（同+3.1%）の増加により引き続き堅調な結果となった一方、輸入数量は同+0.2%と小幅な増加にとどまった。サービス輸出入の動向次第ではあるが、7-9月期の実質GDP成長率における外需寄与度は2四半期連続のプラスとなる可能性が高い。

図表 1：貿易統計の概況

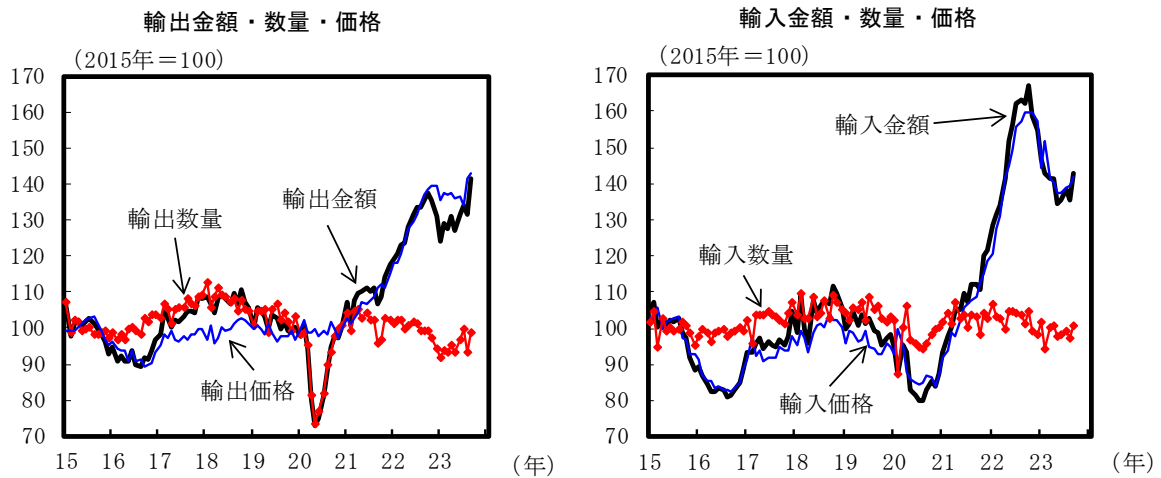
		2023年								
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原系列 前年比 %	輸出金額	3.5	6.5	4.3	2.6	0.6	1.5	▲0.3	▲0.8	4.3
	コンセンサス									3.0
	DIRエコノミスト予想									3.1
	輸入金額	17.6	8.5	7.4	▲2.3	▲9.8	▲12.9	▲13.6	▲17.7	▲16.3
	輸出数量	▲10.9	▲7.8	▲8.1	▲6.0	▲6.4	▲4.8	▲3.2	▲5.2	0.7
	価格	16.1	15.5	13.6	9.2	7.4	6.6	3.0	4.7	3.6
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	▲2.3	▲7.9	▲2.6	▲0.4	▲5.2	▲6.0	▲4.5	▲7.2	▲2.6
	価格	20.4	17.8	10.2	▲2.0	▲4.9	▲7.3	▲9.6	▲11.3	▲14.1
	貿易収支(億円)	▲35,064	▲9,199	▲7,588	▲4,364	▲13,821	392	▲637	▲9,378	624
	輸出金額	▲5.3	4.1	▲1.0	2.5	▲3.1	3.6	1.9	▲1.7	7.2
	数量	▲2.7	2.6	▲0.7	2.3	▲2.0	3.3	3.5	▲6.7	6.2
	価格	▲2.7	1.4	▲0.3	0.3	▲1.1	0.3	▲1.6	5.4	1.0
季節 調整値 前月比 %	輸入金額	▲5.2	▲2.6	▲0.9	▲0.0	▲5.0	0.8	1.9	▲1.9	5.4
	数量	3.2	▲7.4	6.3	0.6	▲2.8	0.6	1.0	▲2.3	3.8
	価格	▲8.2	5.2	▲6.7	▲0.6	▲2.3	0.2	0.9	0.4	1.6
	貿易収支(億円)	▲17,629	▲11,972	▲11,979	▲9,926	▲7,836	▲5,680	▲5,829	▲5,530	▲4,341
	税関長公示レート	132.08	130.38	134.97	132.23	135.31	139.24	142.32	142.23	146.44

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

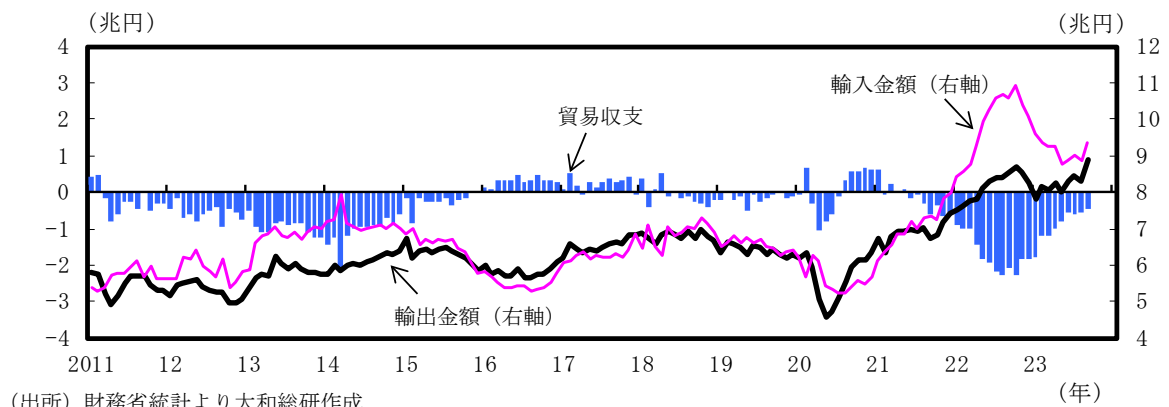
(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。
 (出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】半導体関連財や自動車部品の反動増で全体は高い伸びに

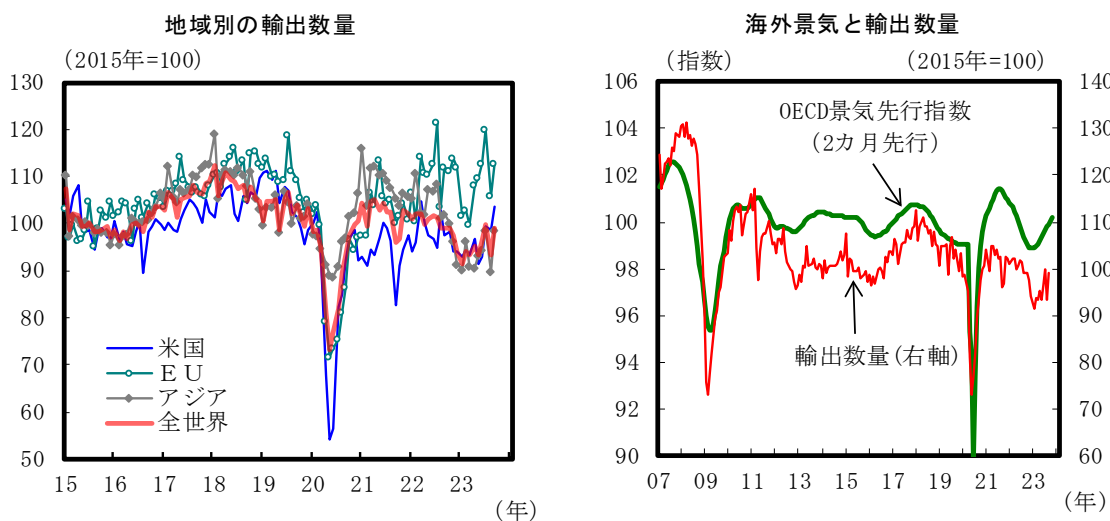
9月の輸出数量は前月比+6.2%と2カ月ぶりに増加した。輸出数量は振れを伴いながらも緩やかに増加している。9月は8月の急減（同▲6.7%）の反動が表れ、米国やアジア向けの半導体関連財、米欧向けの自動車関連財などが押し上げた。他方、挽回輸出が進んできた自動車は前月から横ばいとなった。地域別に見ると、米国向け（同+5.1%）、EU向け（同+6.7%）、アジア向け（同+9.8%）のいずれも増加した。

米国向けは2カ月ぶりに増加した。4月から減少基調にあった半導体等製造装置が持ち直したほか、医薬品などが増加した。また、9月は全米自動車労働組合（UAW）によるストライキの影響もあって米自動車工場の稼働率は低水準だったが、日本からの自動車の部分品や原動機、鉄鋼といった自動車関連財の輸出は増加に転じた。これらの品目では8月に輸出が減少していたことから、9月は反動増によってストライキの影響が緩和されたとみられる。高水準の伸びが続いていた自動車輸出は3カ月ぶりに減少した。

EU向けは2カ月ぶりに増加した。米国と同様に、鉄鋼や自動車の部分品、原動機といった自動車向けの間接財が押し上げた。とりわけ鉄鋼は過去最高水準にある。他方、自動車輸出は前月比▲16.0%と大幅に減少した。9月のEU向け自動車の輸出数量は2019年平均比▲35%程度と、米国の同▲5%程度を大幅に下回っており、日本の自動車に対する需要の回復は鈍いようだ。その他の品目では二輪自動車が増加に転じて全体を下支えした。

アジア向けは2カ月ぶりに増加した。前月に急減した半導体等製造装置や集積回路（IC）で大幅な反動増が表れた。とりわけ中国向け半導体等製造装置の増加幅が大きかった。中国では、日本の先端半導体製造装置の輸出管理強化に対応するために、管理対象でない同製造装置によるサプライチェーンの再構築が進んでいる可能性がある。その他の品目ではプラスチックが増加に転じた一方、非鉄金属や鉄鋼が減少に転じた。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はG20ベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】米国向け輸出の復調が下支え要因に

先行きの輸出数量は緩やかな増加基調が続くとみている。挽回生産の継続により主力の自動車輸出が高水準で推移すると見込まれるほか、米国経済の底堅さが幅広い財の輸出を下支えするだろう。ただし、日銀短観の結果などを踏まえると、海外市場における自動車のペントアップ（繰越）需要は2023年度中に概ね発現しきる見込みだ。また、米欧ではタイトな金融環境の下で企業の設備投資が下振れしやすく、同国・地域向けの資本財輸出については当面低迷が見込まれる。

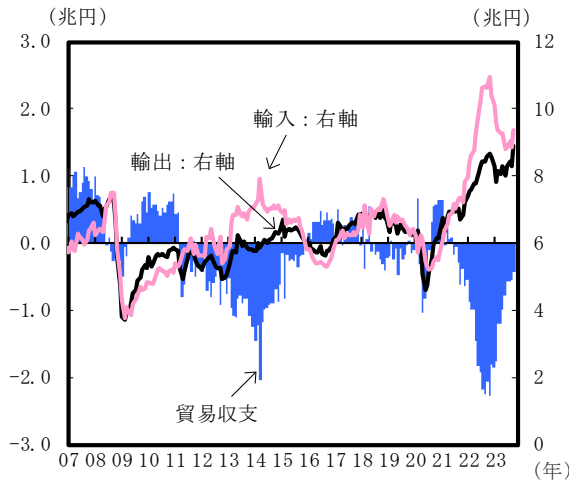
輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは均して見れば増加基調に転じるとみている。米国では大幅な景気減速を伴わずにインフレ率の抑制が進む「ソフトランディング」の可能性が高まっている。9月の小売売上高は前月比+0.7%と6カ月連続で増加しており、最終財需要は堅調だ。また、製造業の企業マインドを示すISM景況感指数（製造業）は9月に49.0%と、好不況の分水嶺である50%近辺まで改善しており、中間財需要の回復も期待される。他方、資本財輸出は低迷するとみている。高金利の継続による設備投資コストの高止まりが見込まれる中、現地企業の設備投資意欲が減退する可能性が高まっている。

欧州向けは均して見れば横ばい圏で推移するとみている。9月にECBが公表した経済見通しや、10月にIMFが公表した世界経済見通しでは、2023年、24年ともにEUの成長率予想が引き下げられた。ファンダメンタルズが悪化する中、幅広い品目で日本からの輸出が伸び悩むとみられる。他方、ウクライナ問題を背景とした鉄鋼製品の代替輸出や、自動車輸出の回復余地の大ききさといった特殊要因が下支え要因となるだろう。

中国向けは回復ペースが鈍化するとみている。中国の7-9月期の実質GDP成長率は前年比+4.9%と、不動産市況の悪化を主因に4-6月期（同+6.3%）から減速した。日本から中国向けの不動産関連財の輸出額は大きくないため、直接的な影響は小さいとみられるが、中国の内需の縮小で日本から財輸出が幅広く減少する可能性には注意が必要だ。また、主力の輸出品目である半導体製造装置を巡っては、米国による対中輸出や対中投資の規制強化が進んでいる。日本がこうした分断の動きに同調すれば、日本からの輸出は大幅に下振れするだろう。

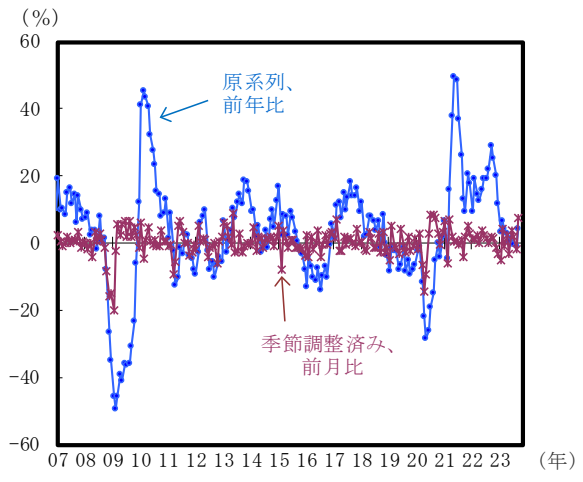
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

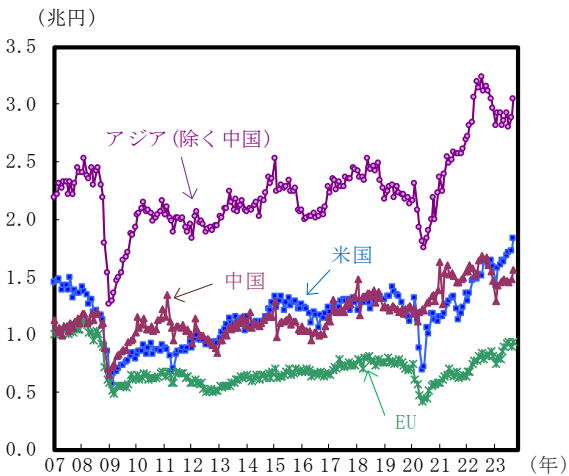


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

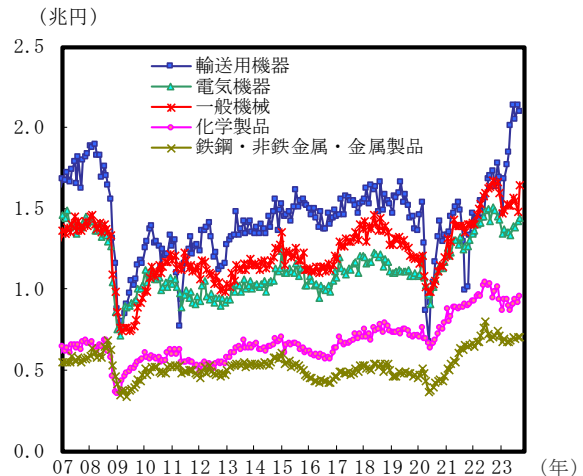


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

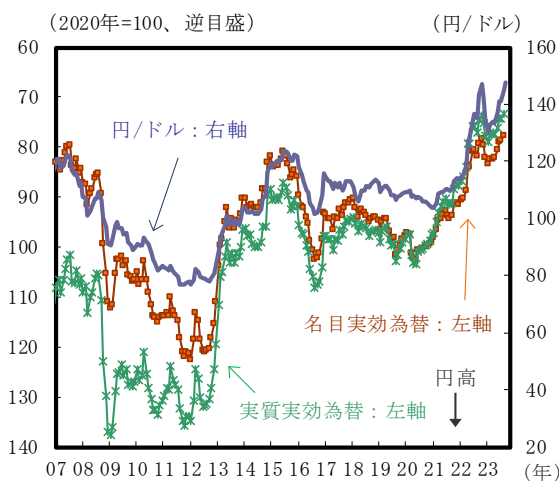


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

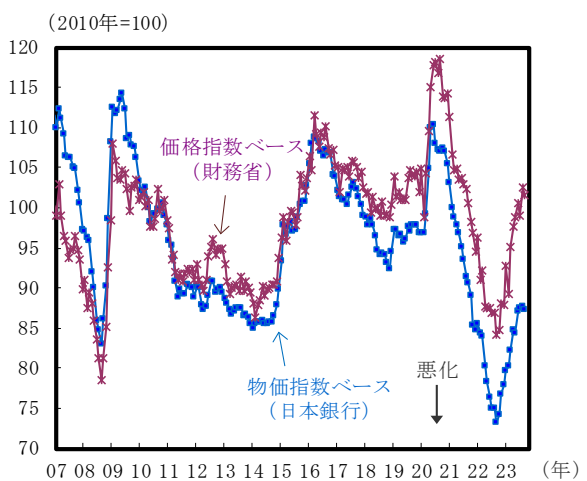


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08	2023/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	2.6	0.6	1.5	▲0.3	▲0.8	4.3	100.0	4.3
食料品	7.1	6.5	2.2	1.2	▲10.8	▲4.1	1.0	▲0.0
原料品	▲11.0	▲16.0	▲8.2	▲2.5	5.2	7.9	1.5	0.1
鉱物性燃料	▲25.7	▲48.0	▲55.5	▲60.0	▲63.7	▲22.7	1.9	▲0.6
化学製品	▲6.3	▲15.0	▲13.0	▲8.8	▲11.7	1.8	10.6	0.2
原料別製品	▲4.3	▲7.5	▲10.2	▲2.7	▲1.1	2.2	10.8	0.2
鉄鋼	▲3.0	▲10.2	▲16.8	▲4.9	▲3.8	▲1.1	4.1	▲0.0
非鉄金属	▲9.0	▲8.4	▲8.0	▲0.9	9.1	2.9	2.4	0.1
金属製品	▲7.0	▲6.0	▲3.0	0.2	1.0	0.7	1.3	0.0
一般機械	▲0.1	▲3.6	▲1.5	▲4.5	▲9.6	▲1.4	17.9	▲0.3
電気機器	▲4.3	▲8.0	▲6.3	▲7.3	0.2	▲4.0	16.9	▲0.7
半導体等電子部品	▲6.5	▲12.1	▲10.7	▲14.8	8.1	▲8.0	5.5	▲0.5
I C	▲2.5	▲10.4	▲8.1	▲13.5	15.7	▲9.8	3.9	▲0.4
映像機器	▲12.4	4.3	▲5.3	▲8.4	▲0.8			
映像記録・再生機器	12.6	18.7	▲14.2	1.5	17.0	2.8	0.4	0.0
音響・映像機器の部分品	▲4.8	▲13.9	10.2	▲7.8	▲15.7	▲10.0	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲7.2	▲9.5	▲9.2	▲10.5	▲9.6	▲7.7	2.2	▲0.2
輸送用機器	19.8	38.9	38.0	22.7	25.6	21.2	24.2	4.4
自動車	29.2	66.3	49.7	28.2	40.9	26.9	18.0	4.0
自動車の部分品	▲7.4	▲1.7	5.3	10.2	▲1.1	12.0	4.1	0.5
その他	10.3	8.5	3.1	▲0.7	▲1.3	6.6	15.2	1.0
科学光学機器	12.7	8.3	▲5.6	▲9.8	▲6.8	0.7	2.4	0.0

米国向け輸出金額 内訳								
	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08	2023/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	10.5	9.4	11.7	13.5	5.1	13.0	100.0	13.0
食料品	▲7.3	▲11.3	▲10.5	23.4	7.8	49.4	0.9	0.3
原料品	▲41.6	▲64.8	▲53.4	▲23.3	▲47.6	19.8	0.6	0.1
鉱物性燃料	▲50.2	▲74.0	▲58.0	▲52.3	▲77.8	▲68.2	0.4	▲1.0
化学製品	4.1	▲22.6	▲14.6	3.7	▲25.3	12.8	7.6	1.0
原料別製品	0.8	▲6.3	▲9.4	16.0	▲2.2	12.1	6.3	0.8
鉄鋼	8.9	11.4	▲30.9	32.3	▲15.7	1.8	1.4	0.0
非鉄金属	17.5	▲29.9	▲2.2	12.4	4.6	25.7	0.9	0.2
金属製品	▲7.0	▲11.9	▲1.9	17.4	4.4	13.3	1.3	0.2
一般機械	8.3	▲3.2	3.3	▲1.8	▲4.0	6.4	23.1	1.6
電気機器	10.9	2.6	2.0	12.8	2.7	3.6	12.6	0.5
半導体等電子部品	3.9	▲8.2	▲2.5	4.4	2.4	▲12.0	1.3	▲0.2
I C	33.5	▲2.9	18.2	7.5	9.3	▲25.9	0.6	▲0.2
映像機器	▲6.9	18.5	▲9.2	▲12.3	▲17.5			
映像記録・再生機器	▲5.3	3.7	▲19.5	▲7.8	2.1	▲9.3	0.7	▲0.1
音響・映像機器の部分品	46.3	27.9	68.0	77.7	35.5	▲4.9	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	6.7	▲1.0	4.5	10.6	▲6.4	9.7	1.2	0.1
輸送用機器	17.7	61.4	44.4	32.9	31.9	27.9	38.2	9.4
自動車	23.1	81.9	56.5	34.1	51.0	34.0	31.2	8.9
自動車の部分品	▲0.3	▲1.4	0.4	23.6	▲12.5	2.3	5.1	0.1
その他	16.2	17.1	14.8	4.8	2.5	2.9	10.4	0.3
科学光学機器	6.7	9.2	6.1	▲5.0	▲6.8	13.2	2.4	0.3

EU向け輸出金額 内訳								
	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08	2023/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	11.8	16.6	15.0	12.4	12.7	12.9	100.0	12.9
食料品	15.1	6.4	8.3	22.9	16.8	▲12.7	0.5	▲0.1
原料品	1.4	2.7	0.6	▲17.3	▲4.4	▲20.5	0.7	▲0.2
鉱物性燃料	▲89.8	16.6	▲3.8	▲58.4	▲75.1	▲79.6	0.1	▲0.3
化学製品	▲12.6	▲10.2	▲8.4	▲8.6	▲15.5	▲0.7	10.7	▲0.1
原料別製品	3.2	7.4	8.5	5.4	28.1	20.3	8.5	1.6
鉄鋼	▲19.2	3.6	15.9	▲1.8	144.3	38.5	3.2	1.0
非鉄金属	55.9	44.6	28.5	5.3	8.9	12.5	1.0	0.1
金属製品	0.1	10.9	8.4	15.3	8.8	4.6	1.3	0.1
一般機械	▲3.5	3.9	9.2	13.0	1.0	6.9	20.9	1.5
電気機器	9.6	▲1.3	1.3	7.9	9.3	9.7	16.4	1.6
半導体等電子部品	13.8	▲1.8	2.0	1.6	15.1	18.5	2.4	0.4
I C	6.4	▲14.1	▲12.2	▲19.6	3.7	2.5	0.8	0.0
映像機器	▲10.0	3.5	▲29.1	▲8.4	16.3			
映像記録・再生機器	4.4	10.1	▲31.3	▲1.1	25.6	21.8	1.0	0.2
音響・映像機器の部分品	▲24.0	▲45.7	▲27.1	▲32.2	▲29.5	▲0.1	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	14.1	6.7	5.0	5.1	2.9	5.1	1.6	0.1
輸送用機器	58.5	76.2	63.4	38.1	35.7	23.9	26.3	5.7
自動車	94.8	141.6	78.8	55.3	63.2	23.9	17.2	3.7
自動車の部分品	▲10.6	1.5	9.0	23.2	▲7.1	35.9	5.0	1.5
その他	12.2	23.8	▲0.3	2.0	19.2	20.1	16.0	3.0
科学光学機器	20.5	4.6	▲9.3	▲9.3	23.1	18.3	4.2	0.7

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08	2023/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.3	▲8.1	▲8.4	▲13.3	▲8.8	▲4.3	100.0	▲4.3
食料品	9.9	11.0	5.9	▲6.2	▲14.4	▲14.7	1.3	▲0.2
原料品	▲9.3	▲10.7	▲4.8	2.7	10.5	7.8	2.5	0.2
鉱物性燃料	▲37.9	▲27.4	▲32.9	▲64.6	▲61.9	▲25.0	2.0	▲0.6
化学製品	▲6.7	▲13.6	▲13.0	▲11.8	▲8.7	▲0.7	14.1	▲0.1
原料別製品	▲11.6	▲15.0	▲14.5	▲11.2	▲5.0	▲3.3	13.7	▲0.4
鉄鋼	▲9.3	▲21.4	▲22.4	▲18.2	▲12.7	▲7.2	5.1	▲0.4
非鉄金属	▲17.9	▲9.8	▲9.3	▲2.0	8.9	▲1.5	3.8	▲0.1
金属製品	▲15.1	▲13.3	▲14.5	▲13.3	▲5.4	▲5.7	1.4	▲0.1
一般機械	▲4.0	▲5.4	▲8.7	▲12.5	▲17.8	▲9.6	16.9	▲1.7
電気機器	▲11.3	▲12.8	▲10.5	▲15.0	▲3.5	▲9.1	22.1	▲2.1
半導体等電子部品	▲8.3	▲13.1	▲11.3	▲16.3	8.4	▲9.2	9.5	▲0.9
I C	▲3.9	▲10.7	▲8.7	▲14.1	16.1	▲9.7	7.2	▲0.7
映像機器	▲17.0	▲1.0	▲1.4	▲11.2	▲1.0			
映像記録・再生機器	32.9	33.5	▲1.3	6.2	20.1	▲0.4	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲16.9	▲19.4	▲3.0	▲18.0	▲20.3	▲13.1	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	▲12.9	▲14.1	▲13.9	▲16.2	▲13.2	▲12.7	3.1	▲0.4
輸送用機器	▲8.0	14.3	7.9	▲16.2	6.2	5.3	8.9	0.4
自動車	▲0.2	39.1	9.2	▲9.4	8.5	8.3	5.2	0.4
自動車の部分品	▲18.2	▲9.5	▲4.1	▲9.2	▲0.2	9.6	3.2	0.3
その他	6.1	0.2	▲1.5	▲7.2	▲7.8	1.8	18.4	0.3
科学光学機器	12.3	9.0	▲11.7	▲12.6	▲13.7	▲6.9	2.6	▲0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08	2023/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲2.9	▲3.4	▲10.9	▲13.4	▲11.0	▲6.2	100.0	▲6.2
食料品	7.6	21.2	4.8	▲23.9	▲43.0	▲58.0	0.6	▲0.8
原料品	9.8	0.6	▲9.3	3.0	20.2	36.5	3.1	0.8
鉱物性燃料	▲25.8	17.8	▲58.2	▲51.3	▲64.3	111.7	1.8	0.9
化学製品	▲1.6	▲5.7	▲8.9	▲8.7	▲3.0	1.5	16.4	0.2
原料別製品	▲18.2	▲18.9	▲19.6	▲16.8	▲11.7	▲11.2	10.6	▲1.3
鉄鋼	▲27.2	▲26.5	▲30.2	▲30.1	▲27.8	▲20.2	2.5	▲0.6
非鉄金属	▲18.9	▲22.5	▲20.1	▲7.8	▲4.2	▲8.2	3.8	▲0.3
金属製品	▲13.5	▲13.7	▲19.3	▲20.4	▲6.7	▲12.1	1.4	▲0.2
一般機械	9.4	▲3.0	1.2	▲2.8	▲8.6	1.4	23.1	0.3
電気機器	▲10.8	▲3.2	▲11.7	▲20.6	▲5.1	▲15.1	21.2	▲3.5
半導体等電子部品	2.5	14.3	▲12.8	▲16.8	25.5	▲22.9	6.5	▲1.8
I C	12.5	28.4	▲10.9	▲19.4	39.4	▲27.2	4.6	▲1.6
映像機器	▲23.9	▲17.5	▲22.0	▲21.6	▲15.9			
映像記録・再生機器	70.3	36.4	▲4.7	3.4	8.4	▲12.4	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲39.5	▲36.8	▲14.4	▲44.1	▲28.6	▲30.8	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲18.6	▲11.7	▲14.9	▲25.2	▲16.5	▲17.8	3.4	▲0.7
輸送用機器	▲28.9	10.3	▲10.1	▲24.6	▲5.8	4.6	10.7	0.4
自動車	▲27.3	50.5	▲7.6	▲23.5	▲2.3	7.6	7.5	0.5
自動車の部分品	▲34.5	▲28.1	▲16.6	▲30.5	▲16.8	▲3.6	3.0	▲0.1
その他	26.2	4.9	▲20.5	▲8.9	▲29.4	▲22.0	12.5	▲3.3
科学光学機器	9.3	▲1.2	▲9.7	▲7.8	▲17.6	▲1.5	3.4	▲0.0

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成